

NEWS LETTER



NO.29 2007.12.1

にほんごひろば岡本

発行：にほんごひろば岡本
〒658-0003 神戸市東灘区本山中町 4-18-22

☎078-453-5931

<http://www.kabto-yama.ac.jp/hiroba/>

日本語ボランティアのできること

小学生や中学生といった、子どもたちの日本語指導ボランティアをしていらっしゃる方は多いと思います。私も神戸市の公立小学校で2年間、西宮市の二つの公立中学校で7カ月間、日本語指導ボランティアをしてきました。そこで見えてきた色々な問題を、中国から来た二人の中学3年生の現状を通してお話ししたいと思います。

私が教えている西宮市の二公立中学では、週に1回中国語のサポーターと日本語指導ボランティアをつけ、中学教師が教科学習の補習もしています。また生徒たちは、西宮国際交流協会で日本語を勉強しています。結構忙しいのです。中学2年生に編入した生徒たちは、友達ができると日本語は上達しました。そこからが問題で、大人になっても通用する日本語を教えようとすると「面白くない。普段使わない」となかなか覚えられません。教科の学習用語もまた障害になり、中学・高校生対象の中国語の学習語彙集が出されている程で、日本語ではなく教科を教えた方がいいのではないかともあります。また、日本語指導ボランティアが教える日本語文法と学校の国語文法とは違うので、学校の国語文法も並行して説明しておかなければ混乱するようです。

二人とも中学2年の春に日本に来ました。

一人は男の子で、授業中は寝ていますが他の生徒の邪魔にならないし、ちゃんと登校しているので学校は黙認しています。担任教師は登校するよう毎朝のように電話する事が仕事になっています。父親はどこでもいいから私立高校に行くことを望んでいます。テストで0点や8点をとる生徒が入れる私立高校があるのでしょうか。

もう一人は女の子です。日本語学習も熱心で教科学習も努力していますが、高校受験には間に合いません。そのため、作文と面接だけで受験できる、昼間部のある定時制高校を受験することにしました。

よく言われますが、日本語が良くわからない保護者に学校の状況を理解してもらうのは大変です。兵庫県教育委員会では「外国から来た子どもたちへの就学支援ガイダンス」を開いて、保護者に母語での相談会もしています。学校でも懇談会や自宅訪問で対応していますが、仕事で忙しい保護者がやっと日本の教育事情に気付くのは、子どもの高校受験の時のようです。

義務教育の間は日本語指導ボランティアや母語のサポーターという助けがありますが、彼らのように2年間中学に在籍していると、高校受験の段階から日本人と同じ条件下で受験することが求められます。公立の普通高校に入ることはとても難しいのです。(次ページに続く)

サポーター、日本語指導ボランティア、中学校教師がチームを組んで外国人生徒の指導を考えてあげれば、より効果的な学習ができると思いますが、そのような時間をもてないのが実情です。日本語指導ボランティアのできることは何なのか？考えてしまうこの頃です。(小澤恭子)

みんなのひろば

★バーベキューパーティー

(2007年10月21日 芦屋奥池遊びの広場)

ひろば恒例の BBQ パーティーが 10 月 21 日、快晴の日曜日、芦屋奥池の遊びの広場で行われました。今年の参加者はなんと 75 人にもなり、大盛況でした。今までにない大人数の参加だったので、少々食材が物足りなかったとの声も聞こえましたが、会話に花も咲き、普段会えない学習者や支援者の交流ができ、老若男女？ドッジボールや大縄跳びを楽しんだり、にぎやかな 4 時間があっという間に過ぎました。





ひろば定番ゲームになりつつある「じゃんけん長者ゲーム」はキム・ヨンドゥさんが奥さんの応援で優勝しましたよ。さあ、来年に向かってじゃんけんの練習始めましょう。
※あまりに大人数のせいで、集合写真を撮るのを忘れました。

支援者・学習者紹介

☆山崎裕孝（やまさき ひろゆき）さん
☆キム・ヨンドゥさん（韓国出身・男性）

『お互いに先生』

はじめまして。山崎（写真・左）と言います。
いまは、キム・ヨンドゥ（金 泳杜）さんと一緒に日本語を勉強しています。ひろばに参加し始めて、まだ半年も経っていないのですが、楽しくやらせてもらっています。学習日の土曜日は、ひろばに来て、「こんなのでいいのかなあ」と思ったりするぐらい、おしゃべりで時間が過ぎてしまいます。既に日本語がペラペラなので、会話に苦勞しません。



キムさんは以前に日本に大学生として来た後、一旦、帰国されて今は院生として神戸大学で勉強しています。前に来たときは日本語に苦勞したようですが、今はそんな雰囲気はまったく感じられません。

奥さん（6 ページ左）も最近日本に来たので、

家ではキムさんが奥さんの「にほんごの先生」のようです。そこで、彼が奥さんから質問されて分からなかったことを私に聞くこともあります。キムさんから「感覚的には分かるけど、なぜこうなるの？」と聞かれ、こっちは「感覚的に分かっているけど、説明するには難しいなあ」と考えこむことが度々あります。

でも、「言葉について考えるって楽しいなあ」と感じられるのも、こんなときです。これもキムさんのお陰かな？と思います。

現在、彼は日本語検定1級に合格する、という目標の中で勉強をしています。私自身もこの支援を通じて日本を再発見していくのが今の楽しみです。

学習中には、こんな真面目な話ばかりしているのではなく、雑談したりワイワイと楽しくやっています。

「この前どうだった？」とか、「あそこに行ったことがある？」とか、そんな話が大半です。

キムさんは登山が好きで、私も外を歩き回るのが好きなのです。そんな趣味が一致しているので、今度、六甲山と一緒に登りましょう、という話などもしています。

キムさんが感じた韓国と日本の違いや、「日本ではどうなのか？」という疑問から始まった話をしていたのに、いつの間にか気が付けば私が韓国のことを聞いている状況になっていることがよくあります。

そんなわけで、キムさんは私にとって異文化・日本文化の「先生」なのです。

☆邦近恵里（くにちか えり）さん

☆チョウ・エーレンちゃん（中国出身・女性）

ノートを交換して添削しあっています

私は摂南大学外国語学部所属の邦近恵里です。現在、中国で活躍中の山本温子さんの紹介で、にほんごひろば岡本には2007年の9月から、お世話になっています。大学で、日本語教師免許取

得のための教職課程を履修しているとはいえ、外国人に日本語を教える、というのはとても難しいことだと実際に学習者と勉強を始めて改めて思いました。



指導する上で何が難しいのかというと、自分の国についてよく知っておかないといけないということ。そして、正しい日本語の使い方の2点です。日本語を学習者と一緒に勉強し始めてから、日本語についてよく考えるようになりました。

今は、中国広東省出身のチョウ・エーレン（趙恵玲）ちゃんと一緒に日本語の勉強をしています。彼女は日本に来て1年4カ月ですが、流暢に日本語を話します。趣味はダンスと歌を歌うことで、学校でもダンスクラブに所属しています。毎週中華同文学校が終ったあと、ひろばに来て、学校の行事や、どんなことをしたかを楽しそうに話してくれます。

現在、恵玲ちゃんが苦手としている読解や語彙を中心に勉強しています。また、作文も苦手なようなので、日記をつけることを毎週の宿題にしています。

私は大学では中国語を専攻にしています。去年、北京へ留学したこともあって、ある程度の中国語は理解できると思っていましたが、まだまだです。特に作文は私も苦手としている分野なので、日記をつけるようにしました。もちろん、私は中国語で、恵玲ちゃんは日本語で日記をつけます。そして次の週にお互いのノートを交換、添削しあいます。

間違えることは勇気のいることですが、どんどん間違えて、正しい知識を身につけようと思いま

すし、身につけてもらいたいと思っています。

学習者紹介

★ム・ユリンさん（中国出身・女性）

夢は故郷で日本語教師

ム・ユリン（穆 玉璘）さんは2年前、ご主人の仕事（学校の先生）で横浜に初来日し、今年の3月、ご主人の転勤で神戸に引っ越してきました。5月からひろばで学習しています。中学生の息子さんがいる素朴で優しいお母さんです。

横浜でもボランティアに日本語を教えてもらっていたそうです。家族以外に話す機会がなくて会話に自信がない様子でした。しかし、熱心に勉強して『みんなの日本語Ⅰ・Ⅱ』は終了しています。初級の文法は理解しているので、今は『アプローチ中級日本語』をテキストにして読解と作文の勉強をしています。

宿題を文法項目に沿って出すのですが、いつもきちんとしてきます。よく学習しているだけに、質問も多くなります。私がちゃんと答えられないのが問題ですが……

中級になると文型の類似表現がいろいろ出てくるので、その違いを理解するのが大変ですが、日常の生活場面で応用してもらいたいと思っています。



半年経った今では学習に入る前や途中でも雑談が楽しく出来るようになってきました。日本の

漢字に対応する中国の漢字や音声について質問すると、とても熱心に教えてくれます。中国語は発音が難しい。それを穆さんは舌と歯茎を使ってわかりやすく教えてくれます。

私は学生時代中国語の発音で挫折した経験があるので、「中国語ワンポイントレッスン」は楽しい時間になりそうです。

ご主人と息子さんは日本語が上手で、息子さんは友達もできて、中国へ帰りたくないと言っているようです。

ムさんは母親として日本に長くいると中国の大学へ入学するのが難しくなるのでそれが心配な様子です。

中国の学生は本当によく勉強するそうです。お隣の韓国も同じですね。

ムさん家族がいつまで日本に滞在するのかわからないけれど、日本にいることをチャンスと思って瀋陽で日本語が教えられるようになってほしいと思います。（岡風呂美知子）

★チョウ・ハーシヨンさん（韓国出身・女性）

優しくたおやかな新妻

写真の「ビューティー・ペア」は、韓国からのチョウ・ハーシヨン（曹 和延）さんと、私、所りかです。

ハーシヨンさんは、神戸大学で海事科学の研究をしているキム・ヨンドウさんの奥さんで、今年の4月、春風とともに日本に来ました（先日のBBQでも、キムさんとハーシヨンさんはその仲良しぶりを披露していたので、ご記憶の方も多いと思います）。

結婚したばかりの奥さんを韓国に残して来日されたキムさんから奥さんの話を聞いていて、ぜひ会いたいと思っていた私は、「妻が韓国から来たんです！」という嬉しそうな電話を受けて、ひろばでハーシヨンさんと、ドキドキの初対面を果たしました。

「チョウ・ハーシヨンと申します」きれいな日

本語で自己紹介をされた奥さんは・・・か、かわいい～！！ちょっとちょっとキムさん！こんな美人の奥さんだって聞いてなかったよ！！その時からハーシヨンさんと私は、土曜日の午前中、勉強を始めました。



ハーシヨンさんは韓国の釜山出身、学生的时候は絵画の勉強をしていて、いまも絵を描いたり美術館に行くのが大好きだそうです。

いつも優しくてたおやかなハーシヨンさんは、忙しく家事をこなす一方で日本語の学校に通いコツコツ日本語能力試験の勉強をしたり、日本語を使ってアルバイトをしたり、というような芯の強い部分もあわせ持つ、とても素敵な女性です。

彼女と話していると、毎日の生活で忘れかけていた素直な気持ちを思い出すことができて本当に楽しいです。

初めての出会いから半年ちょっと、日本語もすごく上達したハーシヨンさんには、私のほうがたくさんのお話を教えてもらっていて、いつも感謝しています。私も彼女のような素敵な女性になりたいな。これからもいっしょに楽しく勉強して、お互いのこと、お互いの国のことを、もっともっと分かりあえたら嬉しいです。

みなさん、こんな私達を今後ともよろしく願いいたします。

ひろばで「おっ、あれがビューティー・ペアだな？」と思われたら、気軽に話しかけてくださいね。
(所 りか)



★ヤン・ジュンシュウくん (中国出身・男性)

★ユ・ジュカさん (中国出身・女性)

仲良し親子、頑張ってる

会社のご都合で、ひと足先に日本にお住まいのヤン (楊 文忠) さんのところへ、奥さんのユ・ジュカ (于 淑霞) さんと息子さんのヤン・ジュンシュウ (楊 潤洲) くん (13歳) が、今年8月に移り住んできました。

ご主人のヤンさんは、2005年9月に来日。当初から、わが“にほんごひろば岡本”で黒岩さんの支援を受けて学習していましたので、早速、奥さんと息子さんをひろばに連れてきました。そして、ユ・ジュカさんは井畑真理子さんが、ヤン・ジュンシュウくんは私がパートナーになり、9月から、土曜日午前の学習を始めました。



ヤンくんは2学期から本山中学校の1年生になりました。180cm近い長身の彼は、中国ではバスケットボールの選手であり、一方、なんとサックスを吹く音楽少年でもあったのだそうです。本山中学校でも迷わずバスケット部に入り毎日練習に励んでいます。過日の中学校の運動会ではリレーのメンバーに選ばれて力走したそうで、「センセ No.1! No.1!」と人差し指を立てて誇らしく報告してくれました。サックスの腕前は、ひろばのお楽しみ会で披露してくれるそうで、今や練習に余念がないとか。

日本語は、ひらがなとカタカナの読み書きがなんとかできるところからスタートし、数字の読み方、ものの数え方、カレンダーの読み方などをど

んどんこなしてきました。楊くんの積極的で熱心な学習態度と旺盛な吸収力に対して、パートナーとしては通常の1.5倍から2倍ぐらいの教案を用意して応えたいと思っています。(大西 勇)

お母さんのユ・ジュカさんとの学習はまだ、数回ですが、ある日の学習風景を紹介します。

数の数え方の勉強をしていました。

ひとつ、ふたつ、みつつ・・・なのつ? やつつ～ 何回練習しても「なのつ」なのです。

次に、日にちの呼び方を勉強しました。

ついたち、ふつか、みっか・・・なのか、ようか～

あっ! そうか!! 「なのか」だから「なのつ」だったのです。

納得です。間違いやすい部分だと気づいていなかったのです。お互い教え合っていることを実感した日でした。

日本の会社に勤務のご主人も日本の公立の学校に通っている息子さんもどんどん日本語がうまくなっているので、彼女も二人に負けないように一生懸命勉強しています。そんななかで、家族のことをうれしそうに話してくれました。ご主人のヤンさんは和室(畳)大好きで、布団を敷いて休んでいるとか、ジュンシュウくんは、部活の「朝練」で家を早く出るので、早起きしてご飯を作り、お弁当を作って送り出しているとか、家族のために頑張っている様子がよくわかります。

ご主人の通訳なしで色々な会話ができるようになる日が早く来ればうれしいですね。

(井畑真理子)

私たちは先日の奥池での BBQ パーティーでヤンさん一家がいかに明るいご家族かがわかりました。多くの仲間とうちとけて食事を終えられたあと、そろってドッジボールに参加しました。始めてみると、3人がそれぞれに我を(年も)忘れてゲームに熱中し、その姿はきのうきょう仲間入りした人のようではありませんでした。お母さ

んななどは、コートラインなど無きが如くに相手に向かって駆けていきながらボールを投げつけるのですから。

何はともあれ、ご一家の日本の生活がいつまでも楽しいものであることを、心から祈ってやみません。

学習者のひろば

★富士山に登ってきましたよ!

土曜日の午後、すっかり静かになった「ひろば」で「ひろば一の元気印」の女性、ワワタイ・ジャスティンさん(ニュージーランド出身)は日本語を勉強しています。

彼女は、ワーキング・ホリデーで今年の1月、来日しました。ひろばでは7月から学習しています。ニュージーランドの大学で、日本語を勉強していて、「サムライ」(ケン・ワタナベの大ファン)が大好きなスポーツウーマンです。



そんな彼女が8月末、富士山に登りました。軽々登頂したようです。最後の9合目がちょっと大変だったそうです。昨年登ったパク君同様、「見るだけがいいね。汚いね」が感想でした。

スポーツはするのも見るのも大好きで、先日も全日本バレーやフィギュアスケートの話で盛り上がりました。今度の「お楽しみ会」には参加するそうですから、スポーツ好きの方は話しかけて

あげてください。日本人もびっくりの解説が聞けますよ。

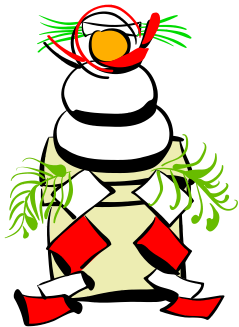
是非「生ジャスティン」から元気をもらってください。

ださい。彼女いわく「私は恥ずかしがりやなの！！」だそうです。

■お知らせ■

●年忘れお楽しみ会・にほんごスピーチ大会

12月16日（日曜日）にほんごひろば岡本
詳しくはひろばの黒板を見てください。



●ひろばの冬休み

2007年12月26日（水曜日）～2008年1月9日（水曜日）まで、ひろばはお休みです。

（水曜日）12月19日が最終、1月16日が最初。

（土曜日）12月22日が最終、1月12日が最初。

みなさん 良いお年を！

CONTENTS

★日本語ボランティアのできること 小澤恭子さん……………1

★BBQ フォトレポート……………2

★支援者・学習者紹介 山崎裕孝さん キム・ヨンドウさん……………3
邦近恵里さん チョウ・エーレンちゃん

★学習者紹介 ム・ユリンさん……………5
チョウ・ハーシオンさん
ヤン・ジュンシュウくん ユ・ジュカさん

★学習者のひろば 富士山に登ってきましたよ！ ワワタイ・ジャスティンさん……………7

★お知らせ……………8

〔編集子のつぶやき〕 今年も1年間、NEWS LETTERにお付き合い下さり、ありがとうございます。来年はいよいよ30号になります。これも、みなさまのご協力のおかげです。「鬼」のように原稿依頼をしまして、さぞ、ご不快のことと思います。いつも依頼ばかりで、書く苦勞を味わってよ！という陰の声が聞こえたのか、今回何本か書かせていただきました。疲れました。みなさまの苦勞、しっかり受け止めまして、来年もよろしくお願ひ申し上げます。来年はねずみ年です。ちょろちょろ原稿依頼をかけていきそうです。(I・M)